# 2026年度 シラバス

貴浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | 鈴木久美子 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 衛生管理 | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 時間数 | 30 | 授業回数 | 15 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容サロン(表参道)にて美容師として約5年間従事し、ヘアメイクアーティスト(フリーランス)として各種撮影(CM・広告・カタログ・東コレ・ウエディング)などのヘアメイクとして15年以上従事する。現在も主にブライダルヘアメイク、アテンドを担当するなど経験豊富な講師が担当する。美容業は不特定多数の人が利用するため感染症が伝播する危険性がある。感染症の正しい知識と拡大まん延予防対策などを学ぶことにより、不安を与えず実践できるということを授業を通して理解をしていく。

〔到達目標〕

感染症には極めて多くの種類があるが、美容師が知っておくべきものはそれほど多くはない。個々の特徴や、共通する項目を勉強して、総合的な理解を得る。また国家試験の必須科目であるため、ワークブックや過去問題を中心に、正しい解答を導き出すことができるよう苦手個所を克服し、国家試験合格を目指す

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、まとめ資料、問題集等 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション、授業科目の概要や進め方、【感染症の総論】《人と感染症1》 | 疫病の歴史と結核がどのような感染症かを知る |
| 2 | 《人と感染症2・3・4》 | 感染症発見の歴史上の人物を学ぶ・美容業の就業制限にも関わってくる感染症の病状の深刻さを分類別に理解する |
| 3 | フィードバック・《人と感染症4》 | ①各感染症の予防対策を講じるうえで重要な、病原体がどのように侵入するかを知ることができる |
| 4 | 《人と感染症4》 | ②各感染症の予防対策を講じるうえで重要な、病原体がどのように侵入するかを知ることができる |
| 5 | 《人と感染症4》《病原微生物1・2》 | 病原微生物は我々に有害に働くものに区分され、構造、成分などを学習し、生活の状態、影響などを知ることができる |
| 6 | 《病原微生物3・4》 | 人と【細菌】の関係 構造・増殖と環境の影響を知り、ウイルスとの違いを理解する |
| 7 | フィードバック・《病原微生物3・4》《感染症の予防1・2・3》 | 人と【ウイルス】の関係 構造・増殖と環境の影響を知り、細菌との違いを理解する |
| 8 | 《感染症の予防4》 | 個人・集団の抵抗力を高めるため予防策として予防接種があり、種類を学ぶ |
| 9 | フィードバック・《感染症の予防5》 | 感染症発生の要因にはどういうものがあるか、またその特徴を学び感染症の発生成立の条件を理解する |
| 10 | 《感染症の予防6》《主な感染症》《感染症表作成》 | 感染症予防は3つに分けて対策があり、措置やそれぞれの適した対策を学び理解する |
| 11 | フィードバック《主な感染症》 | 空気・飛沫・飲食を介して感染する感染症を学びそれぞれの特徴を理解する |
| 12 | 《主な感染症》《感染症表作成》 | 血会苦・動物を介して感染する感染症を学びそれぞれの特徴を理解する |
| 13 | フィードバック《感染症表作成》 | 感染症表（国家試験対策に使用）を作成し各感染症の特徴をより理解する |
| 14 | 総まとめ・復習 | 定期試験対策（授業で使用した練習問題のふり返り） |
| 15 | 定期試験（100点） | 定期試験 |

〔特記事項・授業時間外における学習〕

毎回必ず名札を付けること。毎回必ず教科書・ipad・筆記用具(シャーペン・消しゴム・マーカー等) を持参すること。授業内容の説明後、教科書の重要ポイントにマーカーで下線を引き教科書を見ながら資料に記入をする。練習問題がある日は問題の解答(誤文訂正)も記入し資料とともに授業内でteamsに提出をする。ipadは授業時に使用できるよう充電は済ませておくこと。

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。

# 2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | 米山乃生子 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 保健 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 時間数 | 30 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

歯科医師免許取得後、9年以上の実務経験があり、また教育専門課程にて保健学、生物学などの講師歴20年以上の講師が国家資格取得に向けた保健学を教授します。

〔到達目標〕
国家試験(筆記)合格に向け、出題傾向とポイントを抑えることができる。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 保健の教科書 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | 皮膚科学2章「皮膚付属器官の構造」前編 P80-86 | ・皮膚の付属器官とは・毛の構造、断面、型とその変化、成長周期と成長速度、性状(化学構造)と美容の技術、立毛筋 について説明できる。 |
| 2 | 皮膚科学2章+3.4章「脂腺と汗腺の構造と生理機能」中編 P86-88.92-93.99-101 | ・脂腺と汗腺の構造や分泌作用、成分の特徴などを説明できる。 |
| 3 | 皮膚科学2章+3.4章「爪の性状や特徴、皮膚と皮膚付属器官の再生作用」後編 P88-89.104-105 | ・爪の性状(化学構造)や特徴・皮膚と皮膚付属器官の再生作用について説明できる。 |
| 4 | 皮膚科学3.4章「対外保護作用、体温調節作用、知覚作用、呼吸作用、吸収作用」 P90-93.94-98.121-123 | ・対外保護作用、体温調節作用、知覚作用、呼吸作用、吸収作用について説明できる。 |
| 5 | 皮膚科学5章「皮膚と皮膚付属器官の保健」前編 P106-110 | ・皮膚と体内病変や精神、栄養や嗜好品との関係について説明できる。 |
| 6 | 皮膚科学5章「皮膚と皮膚付属器官の保健」中編 P111-117 | ・皮膚と水分、脂、ホルモンの関係について説明できる。 |
| 7 | 皮膚科学5章「皮膚と皮膚付属器官の保健」後編 P118-127 | ・皮膚、毛、爪の手入れや皮膚トラブルについて説明できる。 |
| 8 | 皮膚科学6章「皮膚と皮膚付属器官の疾患」前編 P128-155 | ・皮膚の異常と病態・湿疹・皮膚炎について説明できる。<br>・皮膚の色素異常や分泌異常について説明できる。 |
| 9 | 皮膚科学6章「皮膚と皮膚付属器官の疾患」後編 P156-175 | ・皮膚の感染症について説明できる。<br>・毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍について説明できる。 |
| 10 | 全体の復習① | ・問題演習を通してこれまでの復習をする。 |
| 11 | 全体の復習② | ・問題演習を通してこれまでの復習をする。 |
| 12 | 全体の復習③ | ・問題演習を通してこれまでの復習をする。 |
| 13 | 自習 個別質問 | 定期試験前の自習時間を有効に活用する。わからないままにしない。 |
| 14 | 定期試験 | 保健ⅠⅡⅢで学習したことの全てをアウトプットし、合格点を獲得する。 |
| 15 | 定期試験の解説 | 解説を聞き理解できていないところはこの場で理解する。 |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| | ●評価<br>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）<br>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）<br><br>●評価方法<br>筆記試験にて評価する。<br>期末試験100点、(マークシート用紙を使用)にて採点を行う。 |

# 2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | | | | | | 淺川 多加美 | | | |
| 香粧品化学 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 時間数 | 30 | 授業回数 | 15 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容サロンで美容師として30年以上の実務経験を有し、また美容師養成施設における香粧品化学の教員認定資格を持ち、国家試験合格という目標だけではなく、美容師として実際に扱う製品の例を挙げ、香粧品の知識の重要性を伝える授業を行います。美容サロンの経営にも携わっておりますので、使用する香粧品だけではなく、美容室開業に向けた準備に必要な香粧品など、幅広く伝え興味を持つ授業を実施します。

〔到達目標〕

前期の授業を元にを美容師として今後使用する香粧品の知識に繋げ、国家試験合格への知識を習得する。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 教科書、iPad、配布プリント、筆記用具 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | ヘアケア製品 | ヘアケア製品を理解する |
| 2 | ヘアスタイリング料・スキャルプケア製品 | ヘアスタイリング料とスキャルプケア製品を知る |
| 3 | パーマ剤・ヘアカラー製品 | パーマ剤・ヘアカラー製品を理解する |
| 4 | スキンケア製品 | スキンケア製品を知る |
| 5 | スキンケア製品 | スキンケア製品を理解する |
| 6 | メイクアップ製品 | メイクアップ製品を知る |
| 7 | メイクアップ製品 | メイクアップ製品を理解する |
| 8 | 復習 | 覚えていない事を知る |
| 9 | 復習 | 覚えたことを確認する |
| 10 | 復習 | アウトプットできるようになる |
| 11 | 復習 | アウトプットする |
| 12 | 復習 | 定期試験に向けて確認する |
| 13 | 定期試験 | 定期試験で確実にアウトプットする |
| 14 | 振り返り | 間違えた箇所の理解 |
| 15 | 国家試験に向けて | 理解不足をなくす |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| | ●評価<br>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）<br>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）<br><br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。<br>期末試験100点、筆記試験にて採点を行う。 |

# 2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | | | | | | 松薗 剛 | | | |
| 文化論 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 時間数 | 30 | 授業回数 | 15 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

サロンワークの経験後、文化論教員資格認定を受けた講師が、国試出題頻度を考慮して授業を行います。

〔到達目標〕

今日の美容業界になるまでの歴史を理解し、国家試験(筆記)において合格点を出せる実力をつける。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 文化論教科書 | 復習とコマシラの予習 例①・・・時間割 |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | 9/30 ①③第4章ファッション文化史西洋編1節～3節P120～126 | 講師自己紹介、授業の概要説明、1章「総論」2章日本の理美容業の歴史を理解する |
| 2 | 9/30 ②④第4章ファッション文化史西洋編4節P127～132 | 近代、現代の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 3 | 10/7 ①③第4章ファッション文化史西洋編5～6節P133～140 | 縄文・弥生・古墳時代の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 4 | 10/7 ②④第4章ファッション文化史西洋編7節～8節P141～147 | 古代の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 5 | 10/14 ①③第4章ファッション文化史西洋編9節～10節P148～156 | 中世の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 6 | 10/14 ②④第4章ファッション文化史西洋編11節～13節P157～167 | 近世（江戸時代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 7 | 10/21 ①③第4章ファッション文化史西洋編14節～16節P168～178 | 近代（明治時代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 8 | 10/21 ②④中間試験対策授業 | 試験範囲1～7講（30点） |
| 9 | 10/28 ①③中間試験・解説 | 近代（大正～昭和20年）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 10 | 10/28 ②④第5章 礼装の種類（和装・洋装）P180～190 | 現代（1945～1950年代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 11 | 11/4 ①③全範囲練習問題演習 | 現代（1960～1970年代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 12 | 11/4 ②④全範囲練習問題ポイント解説 | 現代（1980～1990年代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 13 | 11/11 ①③期末前全範囲練習問題ポイント解説 | 現代（2000～2010年代）の学習と当該箇所過去出題例の理解 |
| 14 | 11/11 ②④期末試験 | 試験範囲1～13講（60点） |
| 15 | 11/18①③期末試験解説 | |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| | ●評価<br>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）<br>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）<br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。<br>中間試験40点、期末試験60点、(筆記試験)にて採点を行う。 |

# 2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | 金谷 毅 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 美容技術理論 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 講義 | 時間数 | 30 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

講師履歴6年：サロンワークで必要な美容技術理論の知識を学び、国家資格取得に向けた美容技術に関する理論を教授します。

〔到達目標〕

国家試験(筆記)合格に向け、出題傾向とポイントを抑えることができる。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 美容技術理論Ⅰ・2 美容実習Ⅰ・2 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | 過去問誤文訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 2 | 過去問誤文訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 3 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 4 | 過去問誤文訂正＆練習問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 5 | 過去問誤文訂正＆練習問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 6 | 過去問誤文訂正＆練習問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 7 | 過去問誤文訂正＆練習問題（美容技術理論Ⅰ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 8 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 9 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、出題傾向を把握する |
| 10 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 11 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 12 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 13 | 過去問バツ訂正＆予想問題（美容技術理論Ⅱ） | 過去問90点以上になるまで反復学習を行い、苦手項目を理解する |
| 14 | 後期定期試験（100問） | 実力を確認し、現状の立ち位置を認知する |
| 15 | 後期定期試験振り返り | 後期定期試験100点修正 |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| | ●評価<br>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）<br>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）<br><br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。<br>期末試験100点、(筆記試験)にて採点を行う。 |

# 2026年度 シラバス

貴浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | 神谷/阿部/高橋(圭)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 美容実習 | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 実習 | 時間数 | 120 |

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

現役美容師または実務経験3年以上の講師が、国家試験筆記科目を実施し、国家試験合格へ導く

〔到達目標〕

国家試験筆記課題の出題傾向を理解し、国家試験合格への基盤を作る。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 各科目教科書 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1.2.3.4 | ワインディング | 前期で学んだワインディング技術を復習する |
| 5.6.7.8 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 9.10.11.12 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 13.14 15.16 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 17.18 19.20 | ワインディング | タイムを20分以内に確実に入れる |
| 21.22 23.34 | オールウェーブ | 前期に修得したオールウェーブの基礎技術を復習する |
| 25.26 27.28 | オールウェーブ | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 29.30 31.32 | オールウェーブ | タイムを28分以内に確実に入れる |
| 33.34 35.36 | オールウェーブ | タイムを27分以内に確実に入れる |
| 37.38 39.40 | オールウェーブ | タイムを26分以内に確実に入れる |
| 41.42 43.44 | カット | タイムを28分以内に確実に入れる |
| 45.46 47.38 | カット | タイムを25分以内に確実に入れる |
| 49.50 51.52 | カット | タイムを23分以内に確実に入れる |
| 53.54 55.56 | カット | タイムを20分以内に確実に入れる |
| 57.58 59.60 | カット | 衛生の合格基準を理解する |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| 評価方法<br>タイム内50点<br>再限度50点 | ●評価<br>A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)<br>E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)<br><br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。<br>期末試験100点、(演習)にて採点を行う。 |

# 2026年度 シラバス

駅浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | 神谷 明日香 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 就職講座 | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 演習 | 時間数 | 30 | 授業回数 | 15 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

美容実務3年、美容学校教務歴15年の教員が、自己分析を行い、就職先必須取得資格である国家試験合格への筆記対策を行い、また美容師として必要な社会人養育を行う。

〔到達目標〕

筆記国家試験課題『美容技術理論』『関係法規』を重点的に学び、正答率80%以上の問題を解くことができるようになる。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| 過去問、ipad | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | 夏季課題から実力試験／関係法規講話 | 実力試験を行い、現状の自分の位置を把握する |
| 2 | 国家試験までのフロー共有／出願にあたり必要な準備物確認／衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす |
| 3 | 出願判定試験／出願フロー再確認 | 出願判定試験 |
| 4 | 衛生管理過去問／インフルエンザワクチン(予定) | 正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす |
| 5 | 出願申し込み | 出願を実施し、国家試験の準備を行う |
| 6 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす |
| 7 | 統一模試 | 統一模試にて全国での立ち位置を知る |
| 8 | 国家試験センター福岡センター長講話 | 自分の立ち位置を理解し、国家試験までのフローを見直す |
| 9 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、見たことがある問題を増やす |
| 10 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる |
| 11 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる |
| 12 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる |
| 13 | 統一模試 | 試験を行い、現状の学力を知る |
| 14 | 衛生管理過去問 | 正答率80%以上の問題を解き、初見の問題も解けるようになる |
| 15 | 衛生管理期末試験 | 期末試験にて後期の学力を把握する |

| 〔特記事項・授業時間外における学習〕 | 〔成績評価の方法と基準〕 |
|---|---|
| | ●評価<br>A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）<br>E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）<br><br>●評価方法<br>評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。<br>定期試験100点 筆記試験 |

# 2026年度 シラバス

横浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | | | | | | 佐々木 綾香 | |
| 美容総合技術 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 演習 | 時間数 | 60 |

〔授業の学習内容と心構え〕（実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する）

現場と国家試験課題授業を10年以上担当している教員による技術指導により、国家試験はもちろん、現場でも即戦力になる技術の習得を目指す。

〔到達目標〕
国家試験合格

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| ワインディング・オールウェーブ道具一式、衛生道具 | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1 | ワインディング | 全頭20分で完成し手直しまでできる |
| 2 | ワインディング | 全頭20分で完成し手直しまでできる |
| 3 | オールウェーブ | 全頭25分で完成し手直しまでできる |
| 4 | オールウェーブ | 全頭25分で完成し手直しまでできる |
| 5 | (1・2組合同) 国試課題発表→国試課題 | 規定タイム完成 |
| 6 | (1・2組合同) 国試課題 | 規定タイム完成 |
| 7 | (1・2組合同) 国試課題　衛生について | 衛生審査について知る |
| 8 | (1・2組合同) 国試課題　衛生について | 衛生審査について知り、実践する |
| 9 | (1・2組合同) 国試課題 | 模試の結果を受け、自分の課題を見つける |
| 10 | (1・2組合同) 国試課題 | 減点の少ない作品を理解し、作ることができる |
| 11 | (1・2組合同) 国試課題　～定期試験～ 12月21日 | 定期試験で実力を発揮する |
| 12 | (1・2組合同) 国試課題 | 減点が少なく、完成度の高い作品を作ることができる |
| 13 | (1・2組合同) 国試課題 | 減点が少なく、完成度の高い作品を作ることができる |
| 14 | (1・2組合同) 国試課題 | 減点が少なく、完成度の高い作品を作ることができる |
| 15 | (1・2組合同) 国試課題 | 減点が少なく、完成度の高い作品を作ることができる |

〔特記事項・授業時間外における学習〕

11月2日から1・2組合同授業になります。
衛生審査についてもこの授業内で指導していきます。
横浜ベル1期生全員で合格を掴み取りましょう!

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
期末試験100点(演習試験)にて採点を行う。

# 2026年度 シラバス

黄浜ベルエポック美容専門学校

| 学科・コース | 美容師科 | 学年 | 2 | 開講区分 | 後期 | 担当教員 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | | | | | | 神谷/阿部/高橋(圭)/高橋(雅)/飯野/金谷/張/佐々木 | |
| 国家試験対策 | | 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 演習 | 時間数 | 150 |

〔授業の学習内容と心構え〕(実務経験のある教員・知見を有する教員がどのような授業を実施するのかを具体的に記載する)

現役美容師またはサロンでの実務経験3年以上の講師が、「ワインディング」「オールウェーブ」「カット」の技術習得を行う。

〔到達目標〕

国家試験課題の技術を習得し、国家試験合格への基盤を作る。

| 〔使用教材、参考文献等〕 | 〔準備学習・時間外学習〕 |
|---|---|
| | |

| 回 | 〔授業概要〕 | 到達目標(できるようになること) |
|---|---|---|
| 1.2.3 | ワインディング | 前期で学んだワインディング技術を復習する |
| 4.5.6 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 7.8.9 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 10.11.12 | ワインディング | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 13.14.15 | ワインディング | タイムを20分以内に確実に入れる |
| 16.17.18 | ワインディング | タイムを20分以内に確実に入れる |
| 19.20.21 | ワインディング | 衛生の合格基準を理解する |
| 22.23.24 | ワインディング | 衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内に確実に入れる |
| 25.26.27 | ワインディング | 衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内に確実に入れる |
| 28.29.30 | 定期試験 定期試験振り返り | 衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内で全頭を巻くことができる |
| 31.32.33 | オールウェーブ | 前期に修得したオールウェーブの基礎技術を復習する |
| 34.35.36 | オールウェーブ | 部分練習を行い、各ブロックの精度を上げる |
| 37.38.39 | オールウェーブ | タイムを28分以内に確実に入れる |
| 40.41.42 | オールウェーブ | タイムを27分以内に確実に入れる |
| 43.44.45 | オールウェーブ | タイムを26分以内に確実に入れる |
| 46.47.48 | オールウェーブ | タイムを25分以内に確実に入れる |
| 49.50.51 | オールウェーブ | 衛生の合格基準を理解する |
| 52.53.54 | 定期試験 定期試験振り返り | 衛生の合格基準を満たし、タイムを25分以内で全頭を仕上げることができる |
| 55.56.57 | カット | 前期に取得したカット技術を復習する |
| 58.59.60 | カット | 国家試験基準の手順を把握する |
| 61.62 | カット | タイムを28分以内に確実に入れる |
| 63.64 | カット | タイムを25分以内に確実に入れる |
| 65.66 | カット | タイムを23分以内に確実に入れる |
| 67.68.69 | カット | タイムを20分以内に確実に入れる |
| 70.71.72 | カット | 衛生の合格基準を理解する |
| 73.74.75 | 定期試験 振り返り | 衛生の合格基準を満たし、タイムを20分以内で全頭を仕上げることができる |

〔特記事項・授業時間外における学習〕

評価方法
タイム内50点
再限度50点

〔成績評価の方法と基準〕

●評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
期末試験100点、(演習)にて採点を行う。
ワインディング、オールウェイブ、カット、それぞれの評価をあわせ、評価とする。